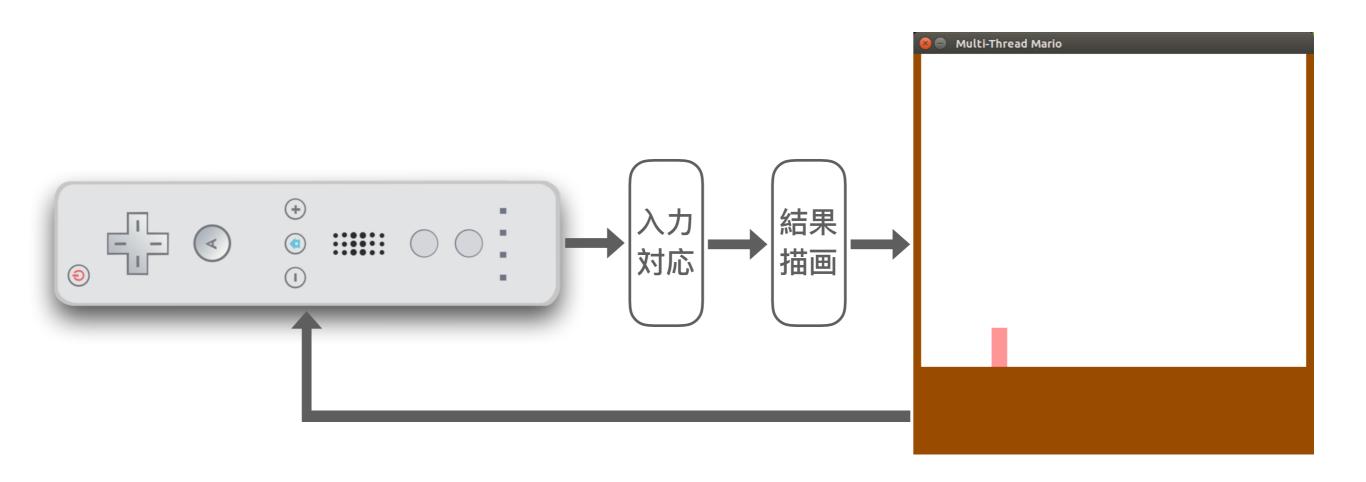
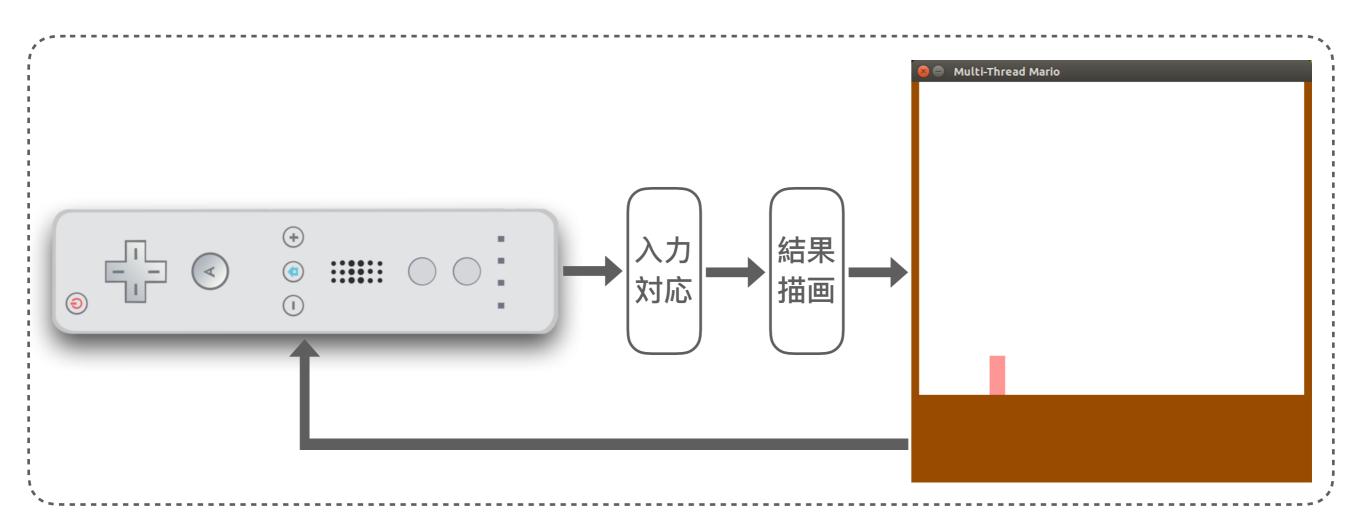
### ソフトウェア設計及び実験 マルチスレッドプログラミング

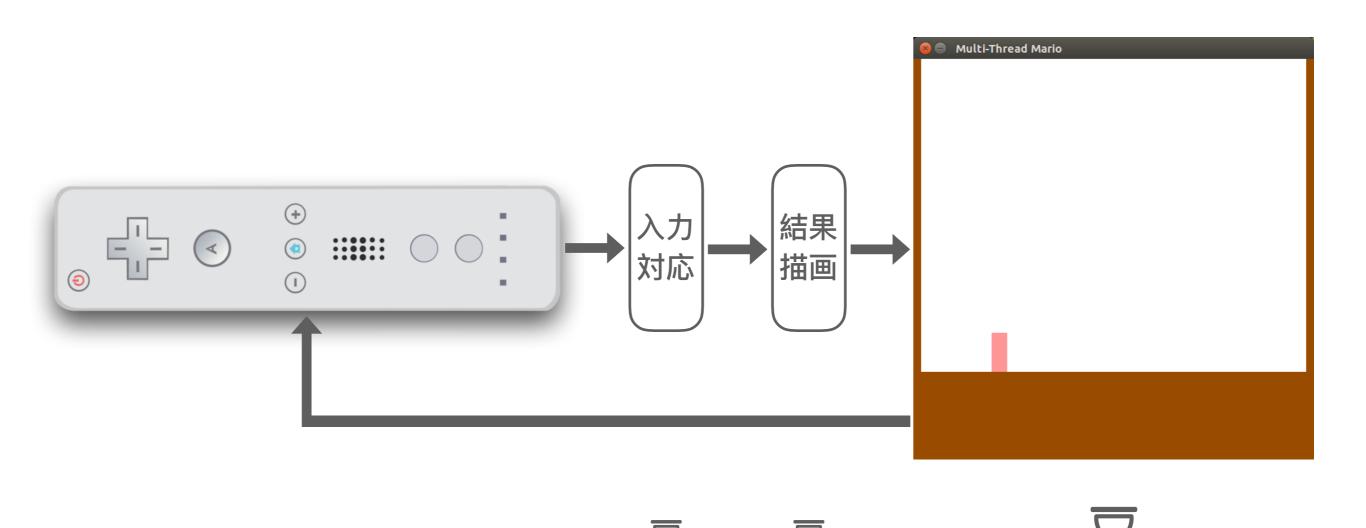
2019年6月4日

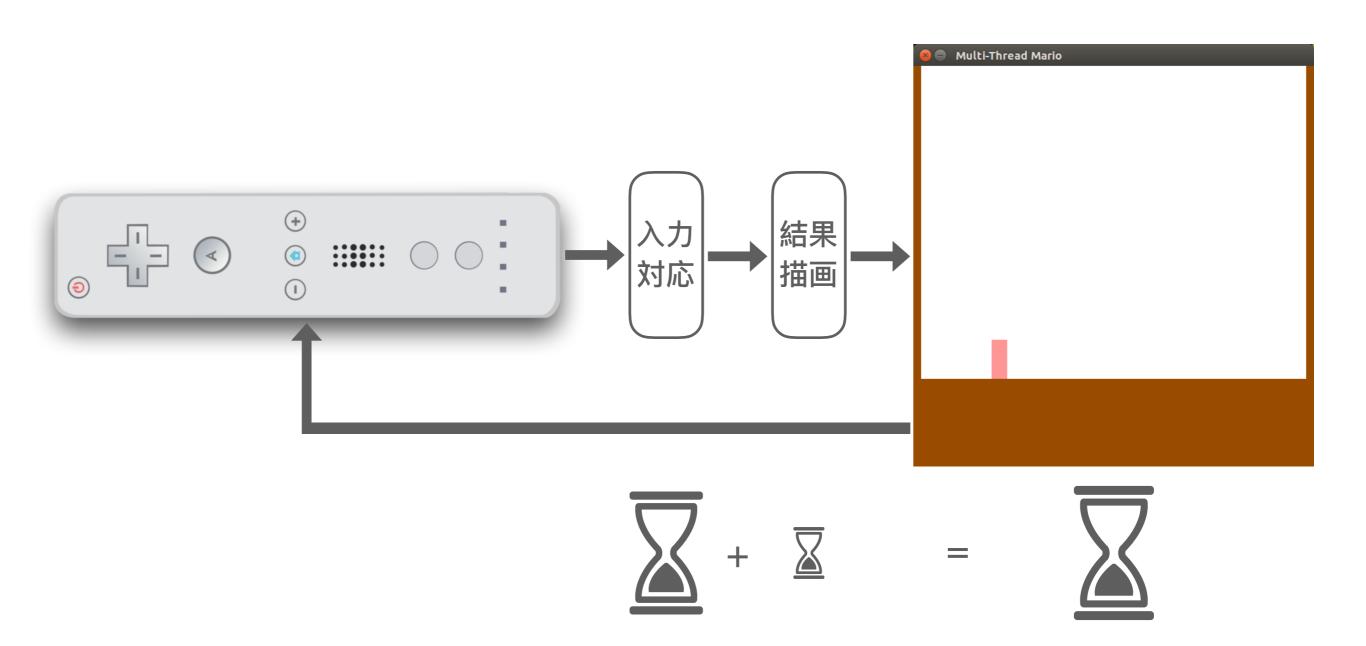
担当:康鑫



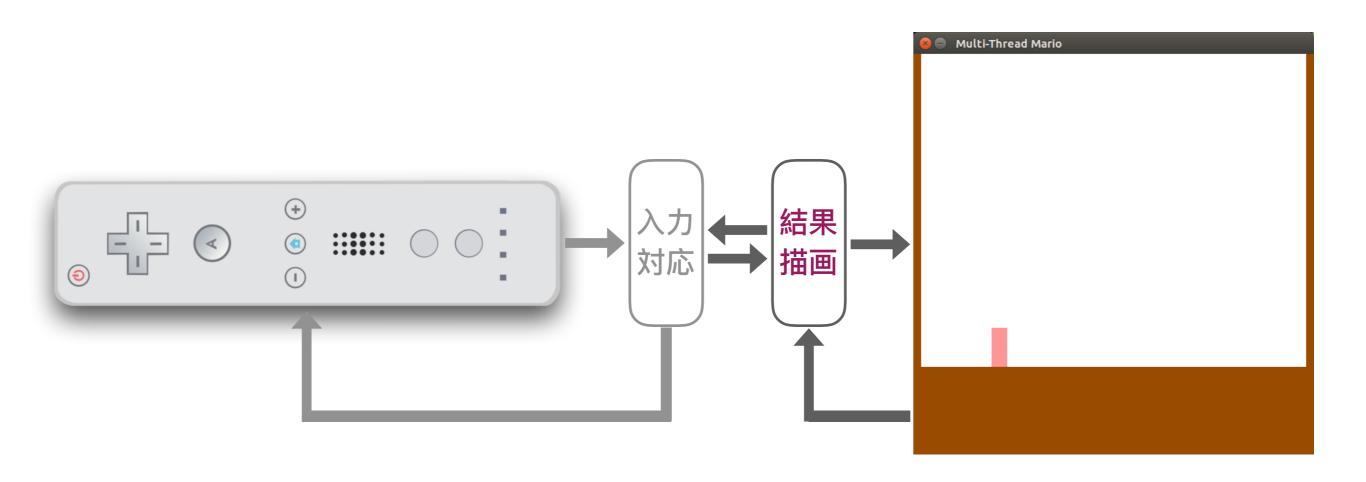


シングルスレッド

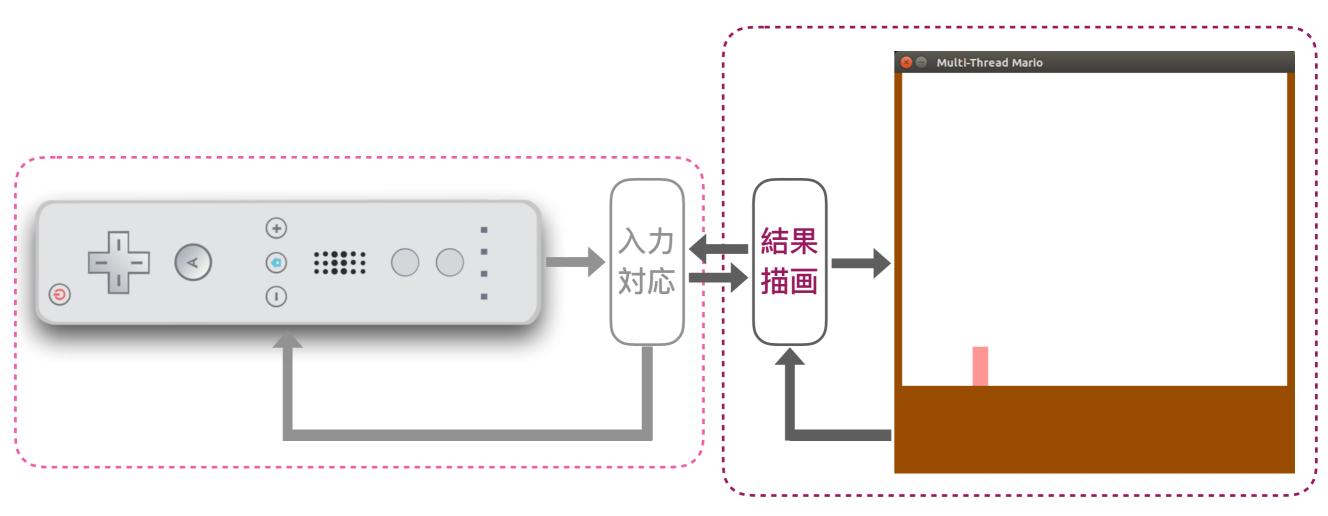




### マルチスレッドプログラミング



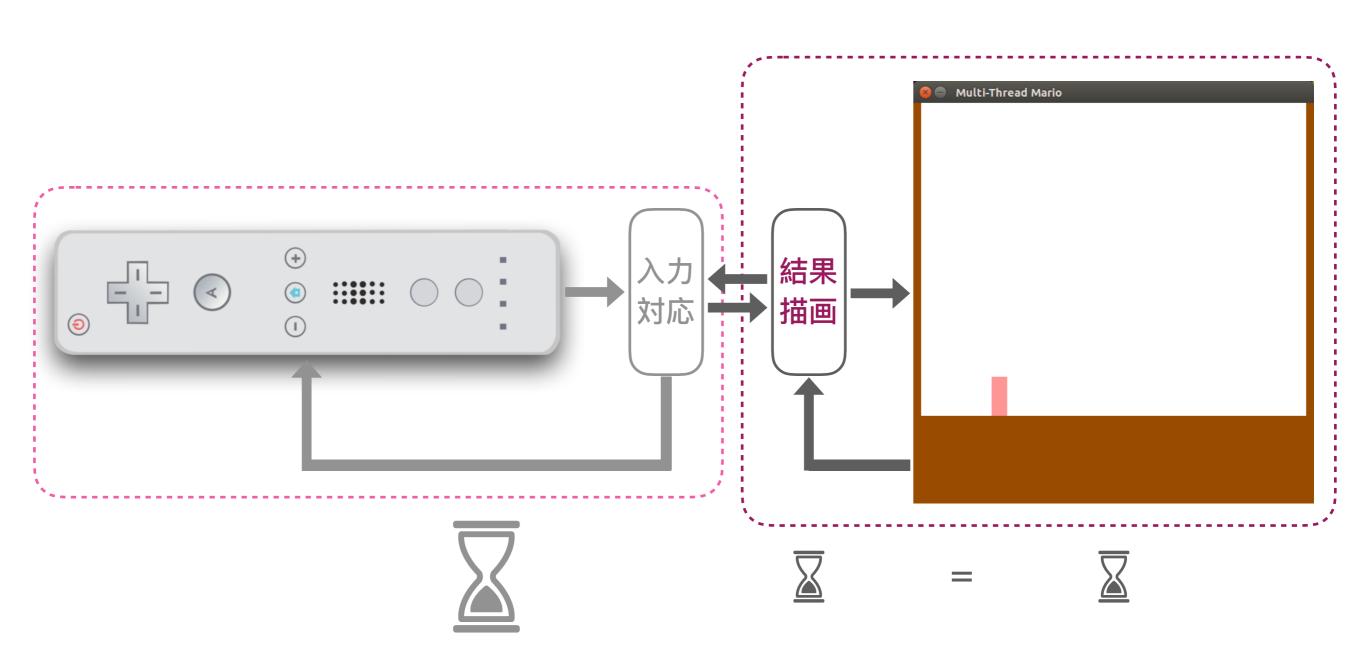
#### マルチスレッドプログラミング



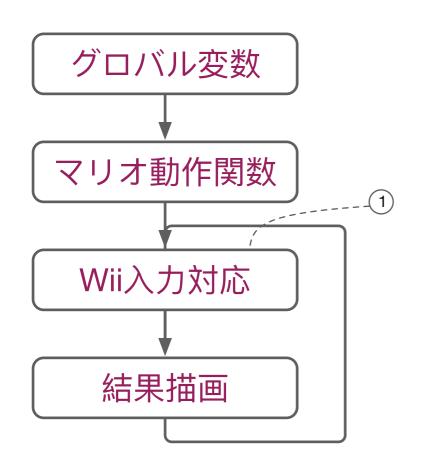
入力対応スレッド

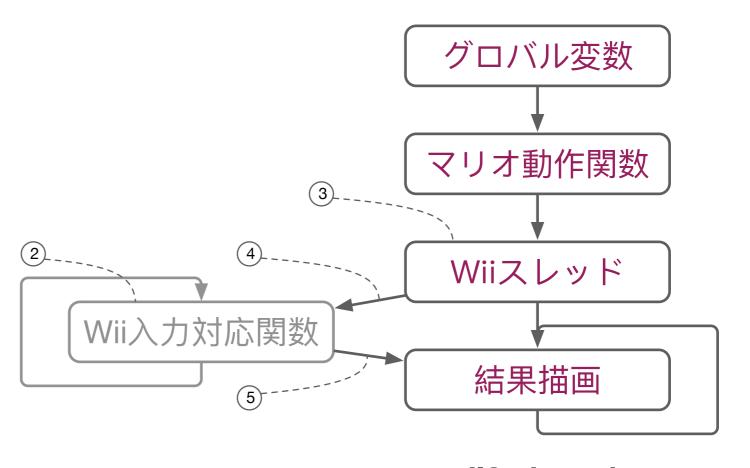
メインスレッド (元々のシングルスレッド)

### マルチスレッドプログラミング



- ①「Wii入力対応」削除
- ②「Wii入力対応関数」作成
- ③「Wiiスレッド」宣言
- ④「Wii入力対応関数」の開始
- ⑤「Wii入力対応関数」の終了





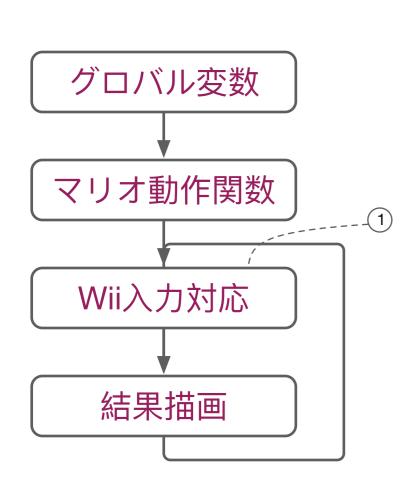
sdl2\_thread.c

#### ①「Wii入力対応」削除

②「Wii入力対応関数」作成

の開始

の終了



```
// STEP. 1
// STEP_1_BEGINからSTEP_1_ENDまでの //
// コードをStep. 2で指示されたところ //
// に移動する
// ***** STEP 1 BEGIN *****
// Wiiリモコンの状態を取得・更新する
if(wiimote_update(&wiimote))
   // ***** Wiiのキー(ボタン)ごとに処理 *****
  // Wii Homeボタンが押された時
   if(wiimote.keys.home)
     wiimote_disconnect(&wiimote); // Wiiリモコンとの接続を解除
   print_wii(); // Wiiボトン値を表示
else
   wiimote_disconnect(&wiimote);
// ***** STEP 1 END *****
```

- wii func: Wii入力対応関数
- args: void \*型の引数

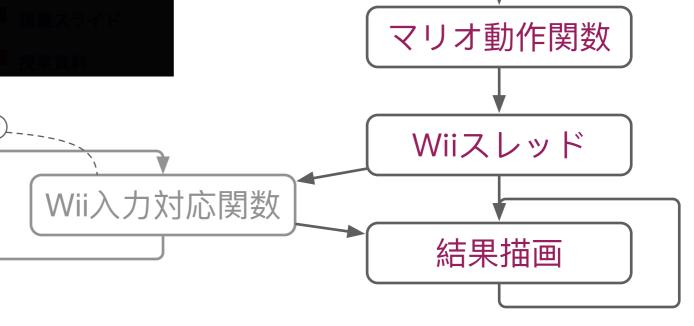
(実際の引数の型に変更できる)

● 返値: 通常は0

- ①「Wii入力対応」削除
- ②「Wii入力対応関数」作成
- ③「Wiiスレッド」宣言

グロバル変数

- ④「Wii入力対応関数」の開始
- ⑤「Wii入力対応関数」の終了

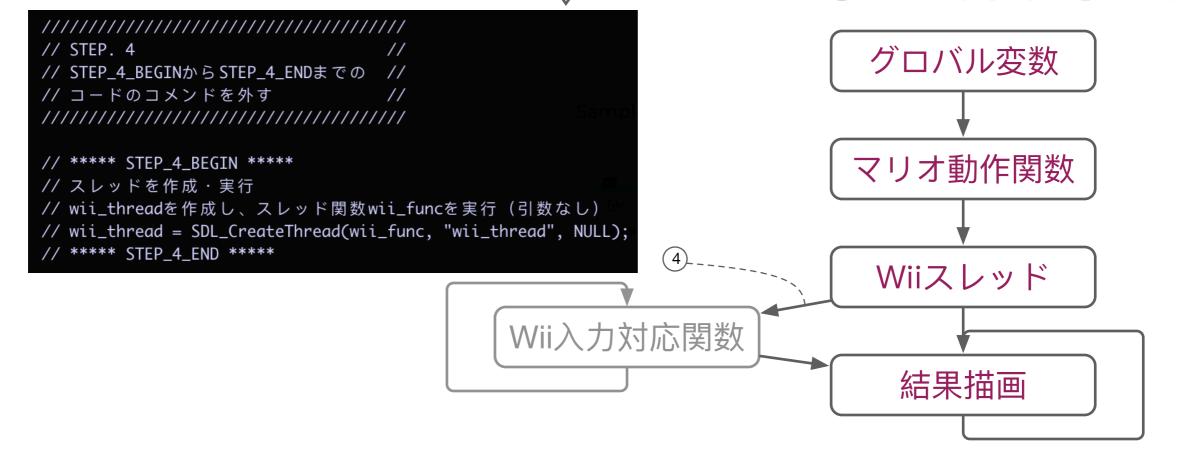


sdl2\_thread.c

```
①「Wii入力対応」削除
                                  ②「Wii入力対応関数」作成
 SDL Thread: SDLスレッドの型
                                  ③「Wiiスレッド」宣言
                                  ④「Wii入力対応関数」の開始
                                  ⑤「Wii入力対応関数」の終了
// STEP. 3
// STEP_3_BEGINからSTEP_3_ENDまでの //
                                    グロバル変数
// コードのコメンドを外す
// ***** STEP_3_BEGIN *****
                                    マリオ動作関数
// SDL_Thread * wii_thread; // スレッドを用いる
// ***** STEP 3 END *****
                             (3)
                                     Wiiスレッド
                 Wii入力対応関数
                                      結果描画
                                    sdl2_thread.c
```

- SDL\_CreateThread: スレッド作成・実行
- 引数 1 (wii\_func): ②で作成した関数名
- 引数 2 ("wii\_thread"): スレッドの名前
- 引数 3 (NULL): ②で作成した関数の引数
- 返値(wii\_thread): 作成されたスレッド③に

- ①「Wii入力対応」削除
- ②「Wii入力対応関数」作成
- ③「Wiiスレッド」宣言
- ④「Wii入力対応関数」の開始
- ⑤「Wii入力対応関数」の終了



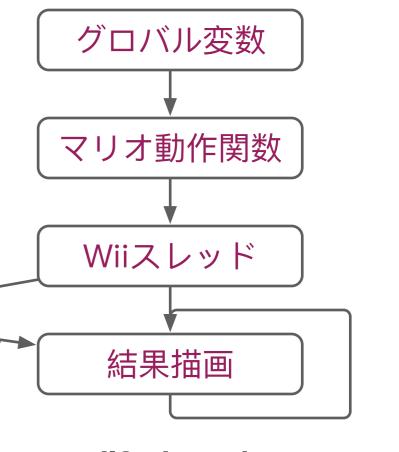
sdl2\_thread.c

Wii入力対応関数

(5)

- SDL\_WaitThread: スレッドが終了するのを待つ
- 引数 1 (wii\_thread): ③で宣言されたスレッド
- 引数 2 (NULL): スレッドの状態 (通常はNULL)
- 返値: なし

- ①「Wii入力対応」削除
- ②「Wii入力対応関数」作成
- ③「Wiiスレッド」宣言
- ④「Wii入力対応関数」の開始
- ⑤「Wii入力対応関数」の終了



sdl2\_thread.c

## プログラミングのまとめ

- 目的: 効率向上
- 方法
  - 非効率部分のコードを見付ける
  - スレッド関数に移動
  - スレッド変数を宣言
  - スレッドの開始
  - メインスレッドで他のコードを実行
  - スレッドの終了

## 試しに実行してみよう

• コード修正

「sdl2\_thread.c」をStep. 1~5に従って修正

コンパイル

「make」で

実行

./sdl2\_thread 識別ID

## 相互排除

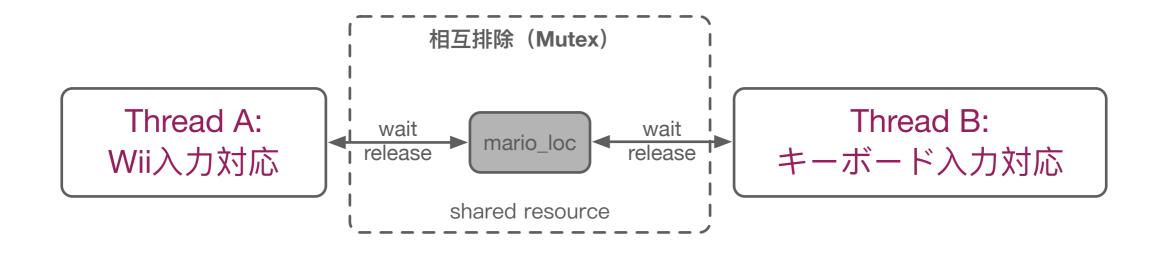
2つ以上のスレッドが同時に1つの変数値を変化(X)



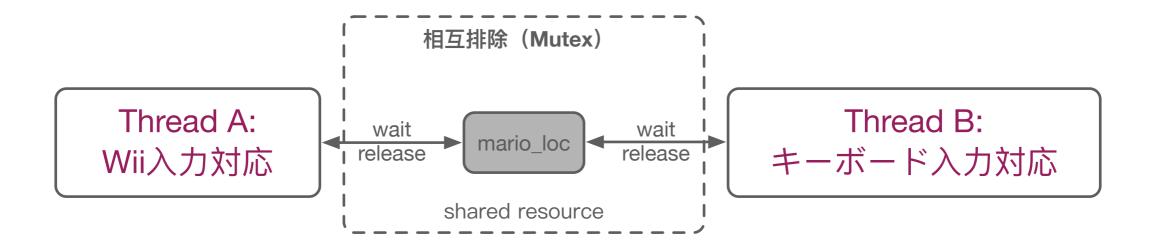
• 例: Wiiとキーボード2つのデバイスで、マリオをコントロール

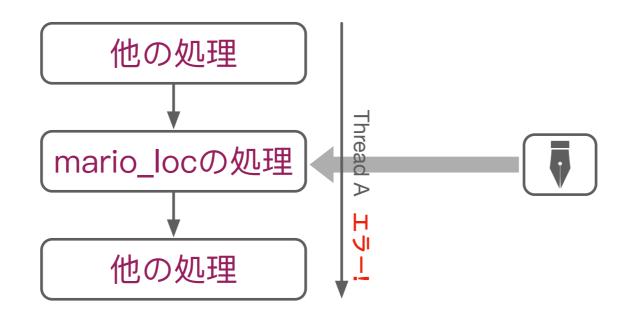
mario locはThread Aに利用される時、Thread Bが一時中止

mario locはThread Bに利用される時、Thread Aが一時中止

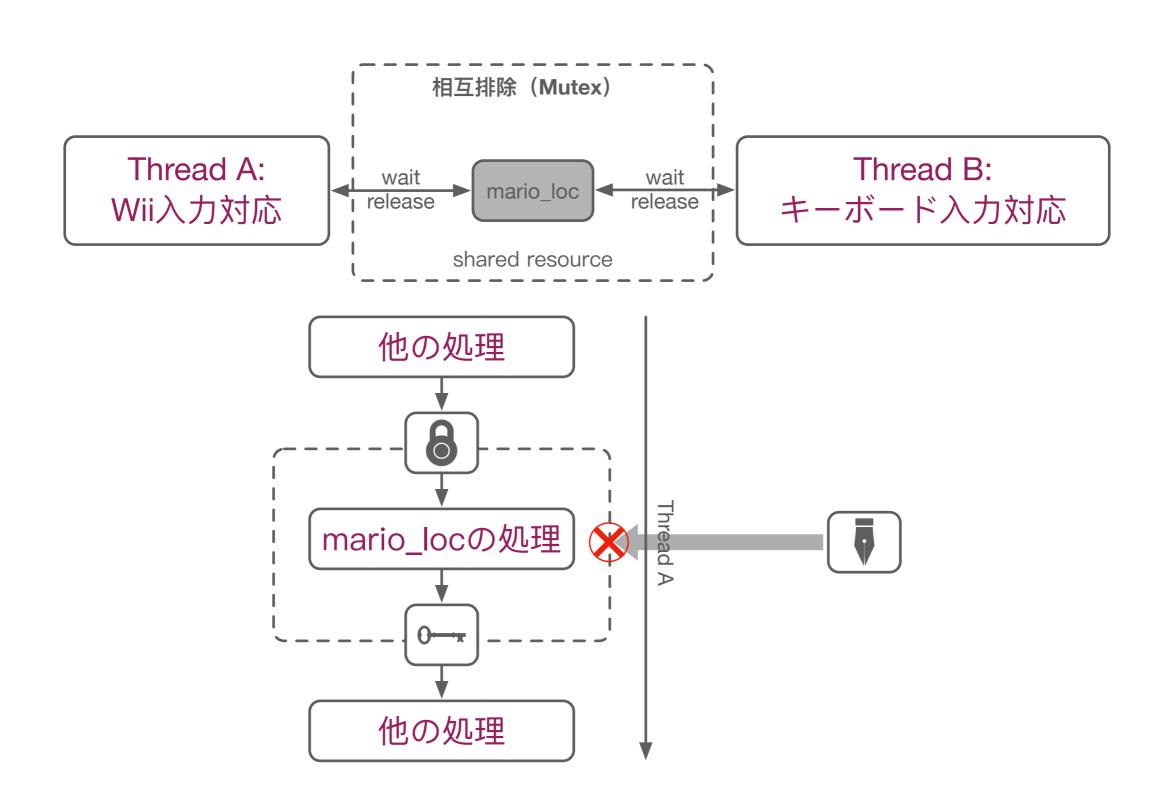


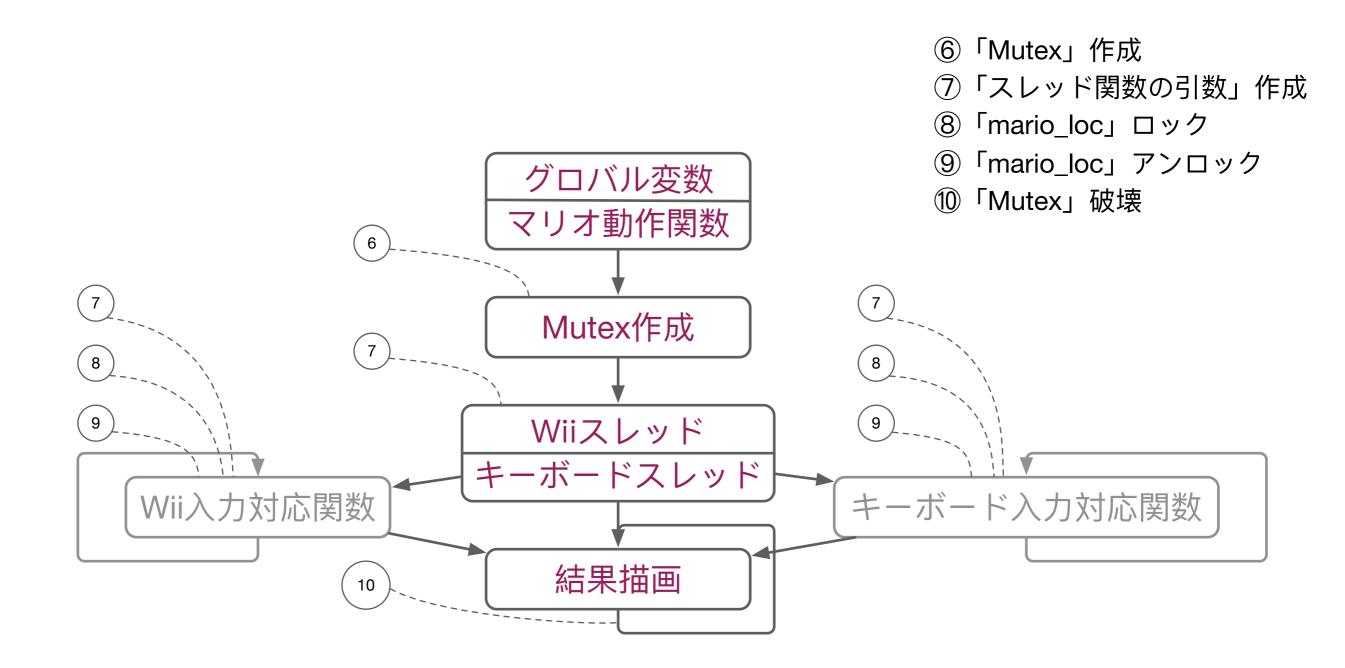
## 相互排除



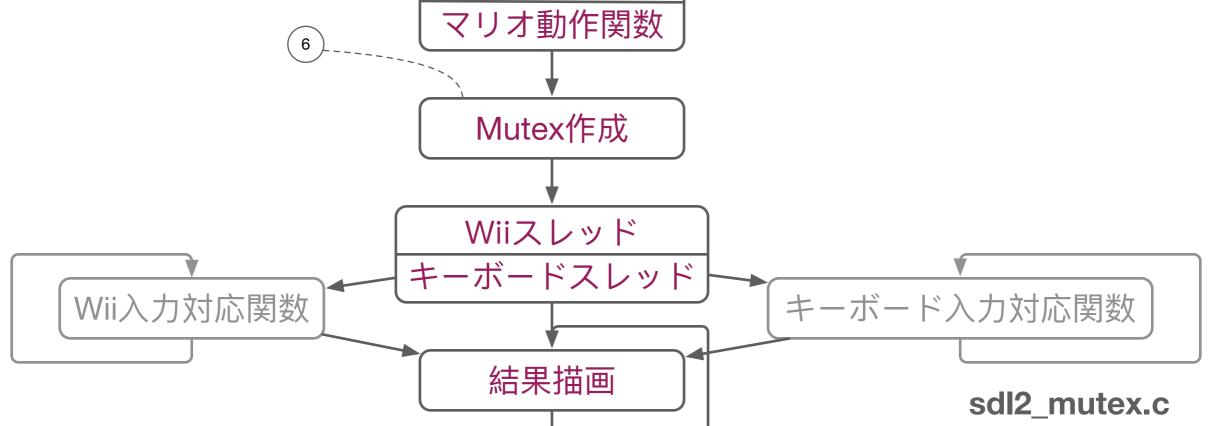


## 相互排除





```
// STEP. 6
                                                       ⑥「Mutex」作成
// STEP_6_BEGINからSTEP_6_ENDまでの //
                                                       (7)「スレッド関数の引数」作成
// コードのコメンドを外す
ロック
                                         ● SDL_Mutex: SDL相互排除の型
// ***** STEP_6_BEGIN *****
                                                                   アンロック
// 相互排除 (Mutex) あり
                                         ● SDL_CreateMutex: Mutex作成
// SDL_mutex *mtx = SDL_CreateMutex(); // 相互排除 (Mutex) を用いる
// ***** STEP 6 END *****
                              グロバル変数
                             マリオ動作関数
```

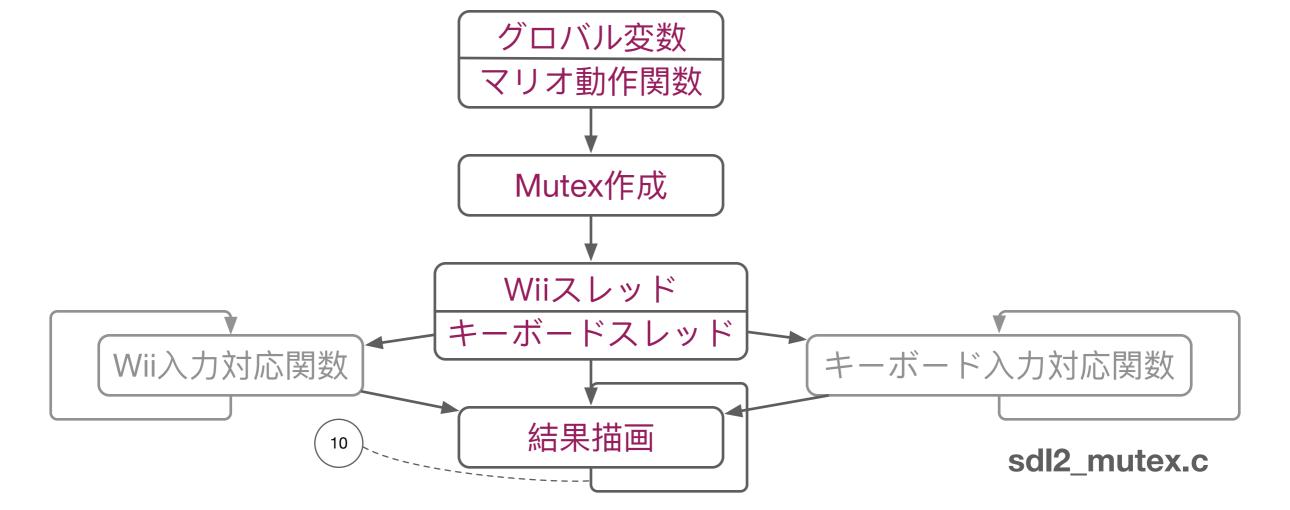


```
// Wiiボタン値によって、マリオの座標を計算
                                                         ⑥「Mutex」作成
// スレッド実行する関数
int wii_func(void * args)
                                                         ⑦「スレッド関数の引数」作成
  「mario_loc」ロック
  // STEP. 7
  // STEP_7_BEGINからSTEP_7_ENDまでの //
                                                                  loc」アンロック
                                         ● args: void *型の引数
  // コードのコメンドを外す
                                                                 山破壞
  (SDL_mutex型に変更)
  // ***** STEP_7_BEGIN *****
  // SDL_mutex *mtx = (SDL_mutex *)args; // 引数型はmtxに変更
  // ***** STEP 7 END *****
                                        ● SDL_CreateThread: スレッド作成・実行
                                         ● 引数 1 (wii_func): ②で作成した関数名
                                         ● 引数 2 ("wii_thread"): スレッドの名前
// wii_threadを作成し、スレッド関数wii_funcを実行(引数mtx)
 wii_thread = SDL_CreateThread(wii_func, "wii_thread", mtx);
                                         ● 引数 3 (mtx): ②で作成した関数の引数
                               Wiiスレッド
                            キーボードスレッド
                                                   キーボード入力対応関数
       Wii入力対応関数
                                 結果描画
                                                               sdl2_mutex.c
```

```
⑥「Mutex」作成
// STEP. 8
                                                 ⑦「スレッド関数の引数」作成
// STEP_8_BEGINからSTEP_8_ENDまでの
// コードのコメンドを外す
                                                   「mario_loc」ロック
「mario_loc」アンロック
// ***** STEP 8 BEGIN *****
                                                   「Mutex」破壊
// SDL_LockMutex(mtx); // Mutexをロックして、他のスレッドが共有変数にアクセスできないようにする
 ***** STEP_8_END *****
                          グロバル変数
● SDL LockMutex: 共有変数をロッ
                          マリオ動作関数
 ク
● 引数(mtx): ⑥で作成した相互排除
● 返値: 0(成功)又は-1(失敗)
                           Mutex作成
                           Wiiスレッド
                        キーボードスレッド
                                            キーボード入力対応関数
      Wii入力対応関数
                            結果描画
                                                      sdl2_mutex.c
```

```
⑥「Mutex」作成
// STEP. 9
                                                 ⑦「スレッド関数の引数」作成
// STEP_9_BEGINからSTEP_9_ENDまでの
// コードのコメンドを外す
                                                 ⑧「mario_loc」□ック
⑨「mario_loc」アンロック
// ***** STEP 9 BEGIN *****
                                                   「Mutex」破壊
 ´SDL_UnlockMutex(mtx); // Mutexをアンロックし、他のスレッドが共有変数にアクセスできるようにする
 ***** STEP_9_END *****
                           グロバル変数
● SDL UnlockMutex: 共有変数をア
                          マリオ動作関数
 ンロック
● 引数(mtx): ⑥で作成した相互排除
● 返値: 0(成功)又は-1(失敗)
                           Mutex作成
                           Wiiスレッド
                        キーボードスレッド
                                            キーボード入力対応関数
      Wii入力対応関数
                            結果描画
                                                      sdl2_mutex.c
```

- ⑥「Mutex」作成
- ⑦「スレッド関数の引数」作成
- ⑧「mario\_loc」□ック
- ⑨「mario\_loc」アンロック
- ⑩「Mutex」破壊



## 相互排除のまとめ

- 目的: スレッドで共有変数を独占する為に
- 方法
  - 相互排除変数Mutex作成
  - スレッド関数にMutexを渡す
  - 共有変数をロック
  - 共有変数の処理
  - 共有変数をアンロック
  - Mutexを破壊

## 課題

#### マリオゲームのマルチスレッド化:

- 1. ソースコード「sdl2\_mutex.c」
- 2. makefileの修正「sdl2\_thread」→「sdl2\_mutex」
- 3. Step. 1~5に従って「Wii入力対応」スレッドを作成
- 4. Step. 1~5を参照して「キーボード入力対応」スレッドを作成
- 5. Step. 6~10に従って「mario\_loc処理」相互排除を作成

#### 提出物(学籍番号.zip):

- 1. makefile
- 2. sdl2\_mutex.c